

徳島県南みどころ情報誌

阿南市・那賀町・牟岐町・美波町・海陽町

# 四国 の右下

2月号



特  
編  
道  
線  
報  
新  
南  
阿

ASA301号のイメージ列車(みなでのらんげ)



特集

# 阿佐海岸鉄道

## 昨年好評だった「なごみ列車」 今年も運転中!!

原付自転車と同じ走行スピード時速30kmのスーパー鈍行列車「なごみ列車」(海部駅～穴喰駅間の臨時列車)。上りが穴喰駅14時00分発→海部駅14時16分着、下りが海部駅14時20分発→穴喰駅14時36分着と通常7分のところ車窓からの景色をゆっくり堪能できるよう16分かけて走行(途中のビューポイントでは一時停車もあるとか!)。今回は穴喰特産の幻のお茶「寒茶」(セルフサービス)も登場。残る運転は2/20(日)27(日)の2回のみです。

海陽町の海部駅、穴喰駅と高知県東洋町の甲浦駅を結ぶ総延長8.5kmの阿佐海岸鉄道。ここで突然ですが問題です。上の写真は海部駅から穴喰駅へ向かう途中で撮影した一枚ですが、この区間(6.1km)にトンネルは幾つあるでしょうか? ちなみにもう1つの区間、穴喰駅から甲浦駅間(2.4km)にあるトンネルは1つ。では、正解を発表します。16。数字だけ見ると、「ふん、それで?」的なリアクションだと思えますが、実際に乗車して体感すると、まー出入りの忙しいこと。一区間のトンネル数×距離×トンネル密度があつたとしたら、全国でもそこそこランキング上位になるのでは!? 乗り鉄の方、情報お待ちしております。



昨年3月の登場以来、人気を博しているラッピング車両「みなでのらんげ」号。徳島県の「すだちくん」と高知県東洋町の「ポンカンくん」と2つのキャラクターをあしらったカワイイ列車です。イベント時などに子供さんへ配布している「ハサミがいらないペーパークラフト」も人気です。

目次

阿佐海岸鉄道	p2
ぶらり旅風景	p6
空海伝説	p9
地元LOVE	p10
四国の右下ter	p12
モノクロペディア	p13



「駅長引継式で使った穴喰保育所の園児さん手作りのお神輿もあるけん見に来てな」



平成14年発行の開業10周年記念乗車券「虹の硬券乗車券」(7枚1組※有効期限切れのため使用できませんが乗車記念に!) 1,640円で販売中。



事務所窓口には前めだか駅長とその仲間たちが。



3種類ある阿佐海岸鉄道乗車記念スタンプ。伊勢えび駅長スタンプもあるよ。



昨年12月、「あさ」と「てつ」の2匹の伊勢えびが新駅長に就任。改札前の水槽が駅長室です。



海部駅は阿佐東線とJR牟岐線の接続駅。

海部純粋トンネル



海部駅から上り牟岐・徳島方面を見ると奇妙なトンネルが!牟岐線全線開通時は山があったようですが、周辺の開発に伴い山が削られ、トンネルだけが残ったそうです。



線路終点の車止め。



唯一駅係員さんが常駐している穴喰駅。エレベータも完備。



車庫

穴喰4 (約1,606m)



観光案内所の前には「阿佐海岸鉄道開通記念之碑」があります。



穴喰駅から第4穴喰トンネルの間にある穴喰車庫。ASA101号とASA301号(みなでのらんけ)は3日ごとに運用。阿佐海岸鉄道HP内の車両運行計画表で知ることが出来ます。

## 利用客UPになるアイデアを全国公募中

阿佐東地域の公共交通の活性化等を検討する阿佐東地域公共交通懇話会では、阿佐東地域(徳島県海部郡美波町~牟岐町~海陽町~高知県安芸郡東洋町)における鉄道(阿佐東線、JR牟岐線)の利用促進や収入増加につながるアイデアを全国から募集中。採用された方には阿佐東地域の特産物セット(1万円相当)の賞品がもらえるのですが、なんと希望すれば「鉄道グッズ(阿佐海岸鉄道で使用されていた行先案内板、プレーキ圧メーター)」に代えることも可(要相談)だそうです。募集期間は3/22(火)まで(必着)。詳細な応募要項は阿佐海岸鉄道HP内にて。

## 阿佐海岸鉄道株式会社

☎ 0884-76-3701

🏠 海部郡海陽町穴喰浦字正権22-1

🌐 <http://www.asatetu.v-co.jp/>

駅名	海部	( )はこども運賃
穴喰	240 (120)	穴喰
甲浦	270 (140)	210 (110) 甲浦



駅のすぐ横が甲浦八幡宮。維新の十傑の一人である江藤新平遭厄の地碑が駅から約1kmのところにあります。



ログハウス風の建物の甲浦駅。



# 牟岐町

海上に浮かぶ青松が彩る小島が絶景の松ヶ磯

『牟岐町史』によりまずと、牟岐(むぎ)という地名の出所はいろいろな説があつて断定することができないようです。東大寺文書によると足利時代に麦の里(港)からクレや海産物等をムヤを経て献納した記録があり、当時は麦井と称していた麦から牟岐へと転化したものとも考えられるとか。なお永禄く元龜頃に築城された牟岐城の城主は牟岐大膳允と云われています。

## 天神社神像とアカテガニ

県指定有形文化財の木造男神坐像がある天神社。この神社がある山から産卵や餌とりに近くの川へ下りてくるのがアカテガニとベンケイガニ。毎年シーズンになると運転手に注意を促すお手製のカニ標識が設置されます。

海部郡牟岐町川長

地元天神前子供会による手作り標識。



▲神像は室町時代の作。

知る

◀「牛鬼淵」へは県道沿いの看板から徒歩20分。

見る

## 顔が鬼で体が牛のような怪獣が住んでいた!?

昔々、牟岐町西又の白木山に牛鬼という怪獣が住んでいたそう。人々が困っていたところ鉄砲の名手平四郎が山へ入り出会い頭にズドン! 牛鬼は谷川に落ち込み滝の淵で息絶えたそう。今、その淵は「牛鬼淵」と呼ばれています。

## スリランカより分骨された仏舎利を祀る

華厳宗総本山東大寺の末寺、正観寺。光明精舎にはスリランカ・キャンディ市の仏歯寺より分骨されたお釈迦様の仏舎利が祀られています。「八大地獄」が見られるところとしても有名。3/27、28には春大祭が行われます。

### 正観寺

☎ 0884-72-0300

📍 海部郡牟岐町大字中村奥前158-1

🎫 八大地獄 大人400円、小人200円

🌐 <http://shokanji.kir.jp/>



## 八坂八浜と国内最古のコンクリート製道路トンネル

牟岐町から海陽町四方原に至る約12kmの間にある八つの坂と八つの浜。四国一の難所として知られた八坂八浜の一つ内妻にひっそりたたずむのが松坂隧道。延長87m、幅員5.8mの直線状の隧道(大正10年竣工)は昨年9月国の登録有形文化財となりました。

波が立つとサーファーで賑わう内妻海岸。

遊ぶ

◀内妻大橋北詰からあじさいの道を進むとあります。



## 牟岐の海を体感するならココ古牟岐です

碧い海、美しい海岸、島々の眺望、清らかな空気、古牟岐は全部が揃うところ。風光明媚な松ヶ磯の前にあるのが『モラスコむぎ貝の資料館&漁師さんの水族館』。その中にある『クラブノアむぎ』ではスキューバダイビングを受付しており、牟岐沖大島湾内にある日本最大級の千年サンゴに会いに行くことができます。

### クラブノアむぎ

☎ 0884-74-0100

📍 海部郡牟岐町大字灘字下浜辺198-1

🌐 <http://www.tk2.nmt.ne.jp/~noah2000/>

遊ぶ

▲クラブノアむぎHPでは牟岐沖の様々なダイビングポイントを紹介しています。

## 水揚げ量全国トップクラスアオリイカ

「イカの王様」と評されるアオリイカ。徳島産は全国トップクラスの水揚げ量を誇っていますが、中でも東京築地で評判が高いのが牟岐のアオリ。秘訣は独自の活けしめ方法にあり。その手法は出荷直前に木槌で打つ瞬殺「ハンマーしめ」です。

### 牟岐町漁業協同組合

☎ 0884-72-0012

📍 海部郡牟岐町大字中村字大戸83

🌐 <http://www.tk2.nmt.ne.jp/~marukin83/>



▲透明度をいかに保つかが腕のみせどころ。

◀モグラ叩きのように素早い「ハンマーしめ」。

巡る





# 牟岐町 出羽島

**1億と4千万年前から暮らしてる**

牟岐港から連絡船おいけまる(大生丸)に乗ると15分で到着。南北982m、東西625m、周囲の海岸線の長さが約3kmの出羽島(てばじま)は空豆にそっくりな形をした小さな島。黒潮の影響により年平均気温は17℃超。県内では最も温暖で亜熱帯植物も数多く繁茂するところです。注目は船発着場より1.3kmにある大池。そこに自生しているのが「生きた化石植物」と云われ国の天然記念物に指定されているシラタマモ。池に沿って大きな石がゴロゴロして少々難儀しますが行く価値大です。

出羽島連絡船(大生丸)時刻表

出羽島港発	便	牟岐港発
6:30	1	7:00
7:25	2	8:20
9:00	3	11:00
12:20	4	13:30
15:00	5	16:00
16:35	6	17:20



西回り遊歩道だと船発着場から灯台まで1.8km。



遊歩道から見た大池。



大池へはゴロゴロした石を越えなければなりません。



出羽島港。遠くに見えるのは牟岐の山々。



島で“車”と云えばコレです。



ミセ造り(郡張(ぶちょう)造り)の家々。



出羽神社。祭神は大国主命(おおくにぬしのみこと)、事代主命(ことしろぬしのみこと)。



至る所に目印があり歩く人にとっても親切。



「昭和への時間旅行」とあります。

出羽島  
マップ



ここから大池へ下ります。



東屋がある展望台。



西回り遊歩道は起伏もなだらか。



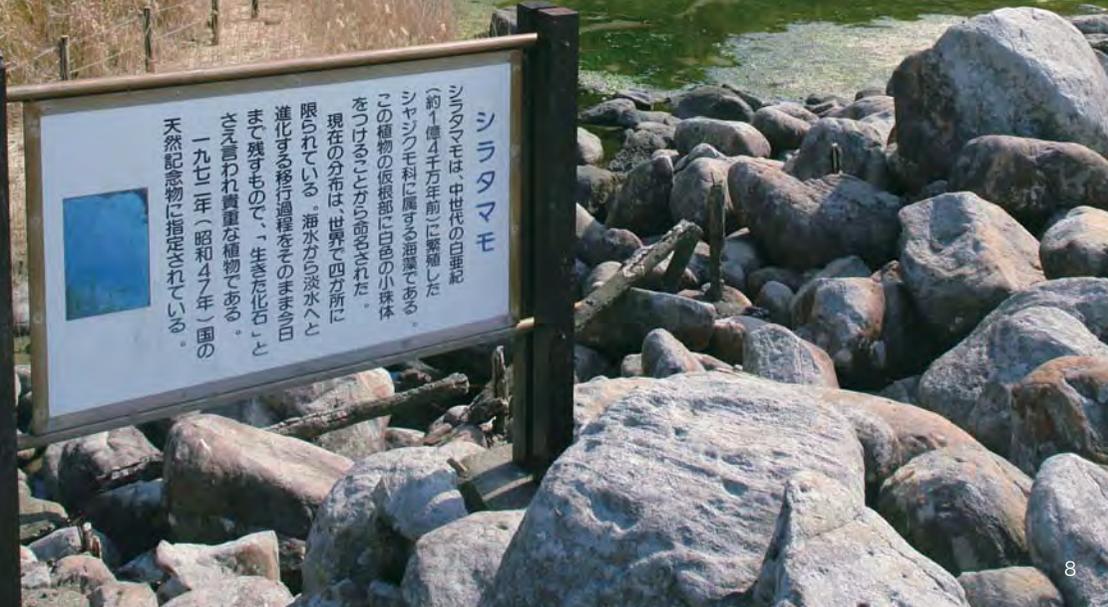
この集落を抜けると遊歩道です。



連絡船は大人1人片道220円。



大蛇がこの岩を枕に寝ていたという伝説が残っている。



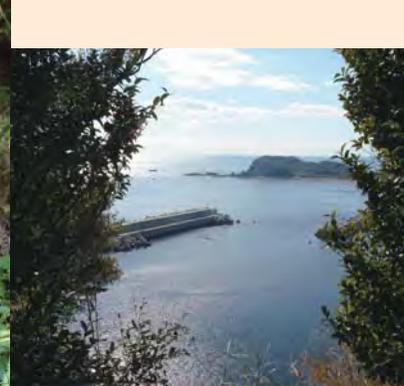


年内に木工作品の販売所をつくりたいと思っています  
(落合直政さん)

▲木工所の周辺に多く生息する猪は『もっこり倶楽部』のシンボル。間伐材で作った猪型ペン立ては500円で販売中！



▲山腹の岩間より湧き出る清水は四季を通じて枯れることなく、眼病に効く霊水として知られています。



▲県道26号沿い阿部(あぶ)から伊座利へ向かう道中にあります。駐車場からの眺め良好！



四国の右下に残る空海さん伝承話をその場所の写真と共に紹介。

## 第5話 お水大師

## 今後は間伐材を活かしてセカンドハウス造りをしていきたい

前身は穴喰町林業後継者グループ。「後継者がいないようになって(笑)。みな50、60歳以上になって。ほんでも最近20代のコが2人、10代のコが1人と若いもんが入って来て、平均年齢がちよつと若返った。今の名前にしたのは平成19年頃、若いしが付けたんですよ。おもしろいだろう」と話すのは『もっこり倶楽部』会長の落合直政さん。活動内容は南阿波よくばり体験推進協議会のインストラクター(森林作業、炭焼き体験、木工細工)、地元穴喰小学校の林業体験学習会や穴喰中学校の間伐材利用した木工製品制作など多岐

にわたります。現在メンバーは13人。林業関係者だけでなく、公務員など職業は様々です。ちなみに取材に訪れた日は、海部川風流マラソンの折り返し地点に設置するオブジェ「セイウチ君」のお化粧中。巨木の根元をそのまま活かした素朴で愛嬌ある姿形で、参加ランナーの皆さんを和ませる「セイウチ君」。奥谷賢治さんは「毎年、同じだったら皆飽きてくるけんちよつとづつ変えるんよ」と言われていました。今年はおブションに大きな変化が!! マラソン当日のお披露目をお楽しみに。

# 地元 LOVE

四国の右下に暮らし、地元を愛する人やグループを紹介

第5回

もっこり倶楽部のみなさん



▲長丁場のフルマラソン。「折り返し地点で癒しになれば」と制作した「セイウチ君」と奥谷賢治さん(左)と落合直政さん(右)。昨年の第2回大会では「同じものが2つとない木目を生かした」入賞者へ贈呈するメダル・トロフィーも木で制作したそうです。

むかし、むかし、この地には東の長者と西の長者が住んでいました。ある夏の日のこと、西の長者屋敷に一人の旅姿のお坊さんが訪れて、「たいへんのどが乾いております。どうか一口のお水をおわけ下さい。」と深々と頭を下げて長者にたのみました。長者の井戸にはつめたい水があふれておりました。しかし、衣もよれよれで、きたないし、近くには谷川があるというのに、わざわざ我が家へ水をもらいに来るのは怪しいと思ひ、断つて追い帰しました。ところが、何やら胸さわぎがしてなりませんでしたので、そつと僧の後をつけて行つてみました。すると、その僧は険しい岩の間を降りて行つたかと思うと、近くにある岩を杖でつきながら、あやしげな呪文を唱え始めました。岩かげからのぞいていた長者は、「あっ!」と思わず息をのみました。岩が音もなく割れ、そこから清水が湧き出てきたのです。そして、おいしうその水をのんだ僧はすうすうと消えてしまいました。驚いた長者は家へ飛んで帰りましたが、なんとその日の夜から、井戸が枯れはてて、一滴の水も出なくなつてしまいました。さてはあの旅のお坊さんは、弘法大師さまだったにちがいないと、人の情けの大切さ、自分の欲の深さ、わがままさを深く反省して、水の湧き出た場所を「お水大師」としてお祀りし、以後あつく信仰したとのこと。いまはそのお水大師も阿部(あぶ)の近くに移動され、もとの場所にはその痕跡だけが残っています。『由岐の昔ばなし』より



▲平成20年9月に新築されたお水大師堂。

お水大師 (おみずだいし)  
海部郡美波町阿部(あぶ)





四国の右下とは、徳島県南部(阿南市・那賀町・牟岐町・美波町・海陽町)のことで。

### 竹細工を作ってみませんか!

阿南市特産の竹を使って、宝船、竹とんぼ、やじろべえ等を作ってみませんか! 日時: 3/19 13:00~15:00 参加費:無料 定員:15名 申込締切日: 3/18 竹人形・星形あんどん・LEDグラス作りは常時開催中! 申込・お問合せ 阿南光のまちステーションプラザ ☎0884-24-3141まで。




### なかなか市で那賀町名物を買おう!

地元で採れた農産物や特産品を即売。ユニークな名前のおはぎ「はんごろし」や地元の食材を使った「手焼きせんべい」は定番商品。ぜひ、会場でお試しあれ! 日時: 2/27 9:00~14:00 (毎月第4日曜日) 場所: 道の駅鶯の里 お問い合わせ 道の駅鶯の里 ☎0884-62-3100まで。



### 阿南市ロゴマーク決定!

制作者 塩崎 榮一様(大阪市)  
全国から応募いただいた「阿南市ロゴマーク」。審査委員会において優秀作品5点を選定した後、中学校の生徒さんによる投票を行い、最多得票の作品に決定しました。



### 3/1 那賀川 あめご漁解禁!

いよいよ清流の女王あめご漁解禁です。どこまでも透き通る川の水に釣り糸を垂れ、山の深さと川の瀬音、野鳥のさえずり...是非山の春の到来を味わいに来てください。遊漁券: 年券8,000円・日券2,000円 お問い合わせ 那賀町役場商工地籍課 ☎0884-62-1198まで。



### 大人を癒すジャズ

~土曜の午後の音楽と珈琲~  
出演: いちよん・ストリングス・ジャズ・トリオ (猪子 恵(ヴァイオリン) 宗川 信(ベース) 金井 優貴(ギター)) 日時: 3/5 14:00~ 場所: 阿南市文化会館(夢ホール) 料金: 500円(1ドリンク付) 仲良しチケット: 2名以上20%off、5名以上40%off。お問い合わせ 阿南市文化会館 ☎0884-21-0808まで。



### 朝獲の新鮮な旬の魚をお届け!

鞆浦漁協とれたて直売市 大敷網で当日朝とれた新鮮な魚を直売。軽トラ市で地元産野菜も販売します。ぜひお越しください。日時: 3/21 13:00~ ※売り切れ次第終了 場所: 鞆浦漁協市場前 お問い合わせ 鞆浦漁協 ☎0884-73-0011まで。



### 2011 桜街道・夢マラソン開催!

日時: 4/3 8:00~(小雨決行) 集合場所: 美波町由岐B&G海洋センター前グラウンド 定員: 亀さんマラソン(2.0km) 400名・ロードレース(3.0km) 100名・ハーフマラソン(21.0975km) 350名 参加費: ハーフマラソンのみ3,000円 申込締切: 3/16 申込・お問合せ 美波町由岐公民館 ☎0884-78-0007まで。



# 四国の右下ter

阿南市、那賀町、牟岐町、美波町、海陽町発信のニュースやお知らせ、イベント情報などをお届けします。



# 活竹祭

2011年 3月20日(日)開催  
午前9時30分～午後3時  
開催場所 阿南市民会館駐車場  
阿南ひまわり会館駐車場

あま AMA ま  
阿南市 豊戸市 安芸市  
AMAがつなく四国東南部観光ルート



本まぐる解体ショー&即売会

12:00~

とくしまハッチー ジャグリングパフォーマンス  
好評 活竹鍋 無料配布 11:15~

ますます

## やる気! 元気! 活気!

### 夢に向かってジャンプ

# 阿南パワー



阿南のうまいもの大集合!



イベントの最後には残り僅ラッキーステージ! 出店者の心算にぞろぞろ! 願って開催される「活竹祭」



「市の特産である竹のように まっすぐ勢いよく伸びる」まちづくりを願って開催される「活竹祭」

主催：阿南市活竹祭実行委員会  
(阿南市商工観光労政課内)  
TEL.0884-22-3290

## モノクロペディア

四国の右下ちょっと昔物語

### 第6回 出羽島 (牟岐町)



徳島県立文書館蔵

「これ段々畑から撮しとんやな。戦争で焼かれもせなんだんで、わしらが子供だった頃とほないかわれへん。ようけ和船がおるでないか。わしら小学校の低学年の時分まで櫓(ろ)で漕いでいく和船がまだようけあったじえ」。大正期に撮影されたと思われる写真を見て話すのは生まれも育ちも出羽島の田中幸寿さん。

「真ん中の大きな船はカツオ船かマグロ船やな。今では知っとう人も少ないけど、出羽はカツオ、マグロ漁の先駆者じよ。『牟岐町史』によると大正・昭和初期、徳島県下の大型カツオ・マグロ延縄漁船13隻のうち出羽島が4隻を所有。牟岐の一部としてではなく“阿波の出羽島”として業界にその名を馳せたとか。

特に盛況だったのがカツオ漁。戦争が始まる前まで最盛期には島内にカツオ節加工場が5軒もあり、土佐高知からも職人を雇い入れ、盛んに製造していたそうです。



田中幸寿さん

▲「カツオ節工場は話聞いただけじえ。でも、子供の頃に建物跡が残ったよ。今の津波避難塔のところにもあったわ」と昭和18年生まれの田中さん。現在、牟岐町漁業協同組合の代表理事組合長を務め、漁協のある牟岐町大戸まで出羽島から自分の船で毎日通っています。

徳島県南から、高知県境にかけての地域を「四国の右下」と呼んでいます。この情報誌は、「四国の右下」のすばらしい魅力を多くの方に知っていただくために発行します。情報、ご意見等がございましたら、ご連絡ください。

徳島県南部総合県民局 企画振興部 総務担当  
☎0884-24-4112  
〒774-0030 徳島県阿南市富岡町あ王谷46



応援してな、とくしま  
ふるさと納税

税は地域を支えています

# 「ふるさと納税」で 徳島県を応援しませんか？

徳島県下の自治体では、ふるさと納税を原資に、様々な事業を行っています。「ふるさと納税制度」は、自治体に寄附金を寄附した場合、現在お住まいの場で納める所得税や個人住民税から、一定の額を控除できる制度です。

実質的に、税金を「自らの意思」で「自らのふるさと」に納めることができ、納税を通して、「ふるさとを大切にしたい」「ふるさとのために何か役に立ちたい」という想いを形にすることができます。

**【徳島県ふるさと納税窓口】**

徳島県 政策企画総局 ☎088-621-2196

**【阿南市町のふるさと納税窓口】**

阿南市 企画政策課 ☎0884-22-3429 (内線 208)

那賀町 総務課 ☎0884-62-1121 (内線 204)

牟岐町 総務課 ☎0884-72-3412

美波町 総務企画課 ☎0884-77-3611

海陽町 総務課 ☎0884-73-4151



ふるさと納税について、詳しくは、徳島県のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2011010500174/>



※ふるさと納税にご協力いただいた方が税金の控除を受けるためには、確定申告の手続きが必要です。阿南税務署では、次のとおり確定申告についての相談をお受けしています。

## 確定申告の 相談は



**期 間** 2月1日(火)～3月15日(火)

土・日・祝日は閉庁日となっています。

**受付時間** 午前9時～午後4時

**場 所** 阿南市商工業振興センター 2階展示ホール  
阿南市富岡町今福寺34-4  
(期間中、阿南税務署内には、申告相談会場を設けていません)

【お問い合わせ】

阿南税務署 ☎0884-22-0414 (代表)  
〒774-0030 阿南市富岡町滝の下4番地4

「四国の右下」のバックナンバーは、徳島県ホームページをご覧ください。  
<http://www.pref.tokushima.jp/docs/2010101900077/>